

# フィードバック対応型翻訳メモリ システムの試作

著者：大倉清司、長瀬友樹，潮田明

発表者：サ ミンソン

# 1. はじめに

- 翻訳者を支援するための翻訳支援ソフトウェアが産業翻訳をターゲットに開発中
- 翻訳した訳例(翻訳メモリ)を蓄積し、検索できる翻訳メモリシステムに関しては、ソフトウェアローカライゼーションおよびマニユアル翻訳などの分野で使われている
- しかし、複数の翻訳者で訳例を共有したい場合、各翻訳メモリについてリアルタイムにフィードバックできないため、翻訳メモリシステムの効能を十分に活かすできていない

## 2. 翻訳メモリシステムにおける共有の問題点 (1)

- 翻訳メモリシステム：翻訳した訳例を原文と訳文のペアの形でデータベースに登録しておき、翻訳するときに翻訳対象文をキーにしてデータベース中にある近い訳例を検索するシステム
- 1文の翻訳が終わると自分の訳文をリアルタイムに登録できる→繰り返し同じ表現が出てくる文書の翻訳に効果的

## 2. 翻訳メモリシステムにおける共有の問題点 (2)

- 複数の翻訳者で翻訳することが多く、翻訳メモリを共有することが必要 (Webサービスとして翻訳メモリの検索・登録機能を提供するの)
- 従来の共有型翻訳メモリシステムにおいては、訳例の検索と登録という2つの機能のみ→各翻訳者の判断で誤った訳例を使わない

## 2. 翻訳メモリシステムにおける共有の問題点(例)

訳例名	訳例	全原文
test <input type="checkbox"/> 選択	これはペンです。 This is pen.	原文のみ
test <input type="checkbox"/> 選択	これはペンです。 This is a pen.	原文のみ

- 誤った訳は、出てほしくないか、下位にランクされるべき
- フィードバック機能がないため、メール等で翻訳メモリ管理者に通知する必要がある
- 翻訳メモリ管理者が誤った訳を修正しない限り、検索され続ける

# 従来の共有型翻訳 メモリシステムの問題点

- 1. 誤った翻訳メモリが登録されていてもすぐにフィードバックできない
- 2. 翻訳メモリのランキングを制御できない
- 3. 翻訳メモリのフィードバックは翻訳メモリ管理者にメールで送らなければならない
- 4. 翻訳メモリ管理者は個々のフィードバックを反映する作業をしなければならない。

### 3. フィードバック対応型 翻訳メモリシステム(1)

- 前節で挙げた問題点を解決するために、以下4つのポイントが重要である
- 1. 翻訳メモリデータベースの拡張：各訳例ごとに、フィードバックを保持する機構が必要。
- 2. フィードバック登録機能の追加
- 3. ランキング手法の改善
- 4. 検索結果の表示のカスタマイズ

# ランキング手法の改善について

- (ア) 評価点によるランキングスコアの調整
- (イ) 利用頻度によるランキングスコアの調整
- (ウ) 登録日付によるランキングスコアの調整

# 検索結果のカスタマイズについて

- (ア)フィードバックの内容を表示するor しない
- (イ)評価点が低い訳例については目立たない表示にする
- (ウ)コメント付の訳例は赤字でコメントを表示する

## (イ)(ウ)両方に対応した表示例

訳例名	訳例	全原文
test <input type="checkbox"/> <a href="#">選択</a>	<b>これはペンです。</b> <a href="#">原文のみ</a> This is a pen.	
test <input type="checkbox"/> <a href="#">選択</a>	<b>これはペンです。</b> <a href="#">原文のみ</a> This is pen.	
	評価点: -1   コメント: 冠詞がぬけていて誤っている(user1)	
	評価点: -1   コメント: 冠詞がぬけてるよ(user3)	

- 訳例フィードバックを表示した翻訳メモリ検索結果(例)

## 4. まとめ

- 複数の翻訳者で訳例を共有するに際して、訳例ごとにリアルタイムにフィードバックができる仕組みを試作した。
- 訳例にフィードバックが登録された時にその訳例の登録者にもフィードバックを通知するような仕組みも考えられる。
- 今後は、実際の翻訳業務に使用し、評価をすすめる